レッスン：SPA　NO.58

テーマ：質問＆答え２

SPA58/KE9/F７

私の兄弟、姉妹達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

レッスンは質問と答えの形で続きます。

質問： 墓を出て大きなピラミッドのなかに到達するために、地上まで旅をする必要がありますが、その途上でいろいろな獣に出会います。それらの獣は今現在、墓のなかにいる間に出会う獣とどのように異なるのでしょうか？何故異なるのでしょうか？

Ｋ：現在のパーソナリティーの部屋にいる間は…そして部屋という時それは無知のステート（＊状態、レベル）を意味しますが…**現在のパーソナリティーは無知ゆえに守られています。現在のパーソナリティーは無数のエレメンタルを創造し、それらのエレメンタルはいわば無知の召使い、あるいは暗黒の召使いと呼ぶことができます。それらは獣であり、それらの獣、それらのエレメンタルは…現在のパーソナリティーがその現れの振動数を変えるまでは…常にそれを創造する人からエネルギーを吸い取っています。しかし、他の人間が作り出したエレメンタルに関しては、それらはその人を害することができません。なぜなら、その人はその人自身の無知の部屋で守られているからです。またその人の無知は他の人のそれとは振動数が異なるからです。というのも私たち各人にはそれぞれ固有のアイデンティティーがあるからです。**そして多くのレッスンで述べてきましたが、私たちは決して部屋のなかにいる時ドアーを開くべきではありません。もし開くと他のエレメンタルたち、人間の無知による創造物が入ってきて、部屋にいる人に影響を及ぼすからです。

　それはどのようにして生じるのでしょうか？ドアーを開くと言うとき、それは一体どういう意味でしょうか？それはアンバランスを創造する、その現れつまりその現在のパーソナリティーのアンバランスを作りだすということです。何がアンバランスを作り出すのでしょうか？現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方以外の何ものでもないと述べましたが、それはつまりノエティカル体およびサイキカル体を意味します。完全にバランスのとれたパーソナリティーであるためには、それら二つの体は両方が調和して結びついている必要があります。もしその調和が変わると、様々なアンバランスが生じ、精神分裂症が生じることさえあります。**このアンバランスは、ドアーを開き、外部からの影響を許すことを意味します。外部からの影響というとき、汎宇宙的潜在意識からの影響のことです。**そして勿論、後になってそのドアーを閉じるのは非常に困難です。つまり、現在のパーソナリティーのバランスを取り戻すのが難しいということです。それがほれほど困難かは、そのアンバランスの強さによります。

いくつかのレッスンで述べたように、現在のパーソナリティーが素質的可能性の二番目のサイクルをマスターするようになると、現在のパーソナリティーはこれらの無知の制限から去ることができます。**つまり現在のパーソナリティーは墓と見なされていた自分の部屋を後にしますが、地のエレメントのなかにいるそれらのエレメンタルに直面することを恐れることなく出ることができます；なぜなら、無知の結果である低次のバイブレーションのエレメンタルは地のエレメントに関係しており、それらはこのエレメントのなかにあります。ですから素質的可能性の二番目のサイクルを完了した現在のパーソナリティーはそれらのエレメンタルに直面することができるのです。エレメンタルは変わりませんが、変わるのはエレメンタルではなくてそのパーソナリティーです。エレメンタルはそれがそのパーソナリティーが創造したものか否かにかかわらず、そこに存在します。どれほど多くのエレメンタルがあるのでしょうか？数え切れません、無数のエレメンタルの群れがあります。**

Page2

質問：エレメンタル、特に地のなかにいる低次のエレメンタルですが、私には地中にいる低次エレメンタルに関する概念がよくわかりません。なぜなら、以前、私たちがいるこのスペースには良いもの、悪いものなどあらゆる種類のエレメンタルが存在すると聞きました。そして地中の低バイブレーションのエレメンタルのことを考えると、地球というのはとても悪いものだと感じられます。しかし、実際はそうではありません。なぜなら、地球は私たちが居住する場所であり、私たちが生存できるようにあらゆる物質的なものを提供してくれるからです。

Ｋ：そうです、そのことは過去にレッスンのなかではっきり述べたと思います。地球のエレメントのことではなく、このエレメントのなかで作り出されるものを意味しています。過去に述べたように、人間の現れの低次のバイブレーションはこのエレメントを使います。また肉体はこのエレメントで築かれており、他のエレメントによって活性化されているとも述べました。**そして物質のなかに降下すると、現在のパーソナリティーは制限ある現れのなかに入ります。物質が使用され、現在のパーソナリティーは生の本質を現さなくなり、代わりに現在のパーソナリティーは生の現象を現すようになります。**

質問：他の用語を使った方が良いのではないかと思うのですが。

Ｋ：違います。なぜ他の用語を使うべきなのですか？原因・結果の法則を経験しようとする人間には地のエレメントが提供されます。なぜなら、このエレメントを司っているのはそれらの創造物、**つまりアークエンジェルのオーダーのエレメンタルであり、それが原因・結果の法則を司っているからです。それゆえに物質、地のエレメントなのです。私たちが物質というとき、その主要なエレメントは地のエレメントであり、その他のエレメントはただ一つの目的のために物質のなかに含まれます。その目的とは地を活性化することであり、その結果、地のエレメントは形、量、大きさなどを帯びることが可能となります。**それゆえに、私たちはこのエレメントを司るアークエンジェルを直接には有さず、エレメンタルとしてのみそれを有するのです。単なるエレメンタルではなく、エレメンタルのオーダーです。そしてそれを創造したのは原因・結果の法則を司るオーダーです。それゆえに人間はこのエレメントにフォーカスしているのです；人間が築くものは全てこのエレメントのなかにあります。なぜなら、無知にある人間が創造するものはすべて原因・結果の法則の結果としてその人に影響をもたらすからです。もしその人が現れとして物質のなかに入らなければ、その法則はその人に影響を及ぼしません。その人が物質のなかに入る時にのみ影響を及ぼすのです。

質問：しかし、影響を受けるのは物質ではなく、基本的には現れなのではないでしょうか？

Ｋ：そうです、物質は可能性を与えます。前に述べたように、それは可能性をもたらします。**“汚れている”のは物質それ自体ではありません。とんでもないです、それは物質ではなく、物質のなかで人間が創造するものが汚れているのです。物質それ自体は純粋であり、地それ自体もピュアー、純粋です。同じ事は物質を司るものに対しても言えます。それらは無知の召使いであり、召使いであること自体は神の黙想の結果です。そして何であれそれらが何を行おうとも、それは神の黙想への奉仕なのです；それらは実際人間を助けているのです。なぜなら、無知ですらその背後には神の目的があります。**それを認識する必要があります。しかし、だからといって私たちが無知を奨励すべきであるということではありません。

目的は無知を背後にして進むことです。私たちは何であれ無知から得られるものを得て、学び、そして啓発に向かって進む、つまり私たちの真の本質をもっともっと現すことができるように前に進んでいくのです。

質問：夢に関する質問ですが、私たちの夢は重要なのでしょうか？

Ｋ**：夢とは潜在意識から浮上するものか、あるいはファンタジーの現れのいずれかです。**さて、その重要性とはなんでしょうか？それは場合によります。初めは全く重要ではありませんが、**しかし現在のパーソナリティーの気づきがあるレベルに到達して、自分の夢のなかで意識的に動けるようになると、大いに重要となります。**夢のなかの出来事のある瞬間にいて、また別の出来事のある瞬間にいる自分に気づくのではなく、その出来事を作り出す、完全に機敏な状態でコントロールするということです。誰でもそのような機敏なステートに到達できるようになります。**夢の出来事のなかで自分の行動をコントロールすることができ、出来事を作り出すことさえできるようになります。勿論、その人が創造できるものは、その人がいるステートと同じです。つまり死の現象の後に経験するものと同じです。唯一の違いは、死という現象によって肉体を去る現在のパーソナリティーはその変化がわからないでしょう。つまり、自分が肉体から去ったことがわからないでしょう。**

Page3

質問：死の現象において、自己実現したパーソナリティーは異なっています。無知にある人々は死と共に、それまで知っていた人々全員を連れて行きます。さて、自己実現した人は何も持って行きません。なぜなら、それらはイリュージョンだと知っているからです…。

Ｋ：**自己実現に到達した人は、サイコノエティカル界のあらゆるバイブレーションのなかを超意識的に移動することができます。その人が知っていたこの世界すらもそのまま訪れることができます**。

質問：この世界のバイブレーションのなかで何をするためですか？

Ｋ：不可視のヘルパーとして助けるためです。自己実現した現在のパーソナリティーが行う唯一のことは、それがこの世界においてであれ、他のバイブレーションの世界の中であれ、同胞の人間達を助けるためです。そしてもし必要なら、この地球がある太陽系の他の惑星においても行います。

質問：それではそのようなパーソナリティーは気がかりなことなどのために時間を費やすことはないのですか…。

Ｋ：ありません、もしその人が過去の出来事を生きたいと望まない限り。

質問：しかし、そのようなことが許されるのですか？

Ｋ：勿論です。人生の本を開くことは許されます。

質問：この世界のバイブレーションにおいても、そうするのでしょうか？

Ｋ：この世界においても寝ている間にそれを選択することでしょう。何であれ行う自由意志があります。**自己実現した人は何であれ行う完全な自由意志があります**、夢をみることさえも。

質問：しかし、なぜ過去の出来事を再び生きようとするのですか？

Ｋ：過去を再び生きる？なぜなら、それらの出来事を実際に体験していた時にはその意味がわからなかった詳細を生きたい、と欲する時があるからです。

質問：それが助けになるのですか？

Ｋ：かつてその時に関係した他の人々を助けることになるかもしれません。自分自身をではありません。自己実現した現在のパーソナリティーなので、自分の現在のパーソナリティーをそれ以上助けることはできません。現在のパーソナリティーの素質的可能性のサイクルによって、すでに出来る限りは助けられています。**他の人々も関係している自分自身の過去の出来事の詳細を見るために、過去に戻ることもあるかもしれません。例えば、一人の現在のパーソナリティーがアンバランスを経験している、あるいは原因・結果の法則の結果として、あることで苦しんでいて、一般の医学では助けることが不可能だとします。その時、例えば自己実現した現在のパーソナリティーであるあなたは過去に戻り、何がその原因なのかを見ます。**時には過去のほんの僅かな出来事が、医学でどうすることもできない病状をもたらすこともあります。誰かが他の人にスピリチュアル・ヒーリングを施している間に、そのようなことを行うかもしれません。特に病気あるいは痛みが過去生の結果である場合など。もしそれが今生の結果であれば、簡単にわかるでしょう。しかし過去生の結果である時には、いつもとは限りませんが時には過去に戻らねばならないこともあります。その当人がではなく、あなたが過去に戻って見るのです。

現在を見ることによって戻るのです。なぜなら、それは現在のなかにあるからです；なぜなら、何であれ今その現在のパーソナリティーを悩ましているものは、同時にあなたを過去へと連れて行くからです。心理学者、あるいは心理分析を行う人が、そのパーソナリティーを過去へと連れて行こうとしますが、それは非常に間違っています。もし必要なら過去に戻るのは当人ではなくて、ヒーラーであるべきです。通常はそういうことは必要ないのですが、特別なケースでは必要となることがあります。

Page4

質問：例えば、あるスピリチュアル・ヒーラーが過去に戻ることができるとします。ある人が病気で、その原因は今生ではなくて過去生にあった出来事だとします。その場合、ヒーラーはいかにしてそのパーソナリティーに変化をもたらすことができるのですか？変化をもたらすためにどのようなワークを行うのですか？現在ある症状からはそのような変化を起こすことはできないわけですが。

Ｋ：そうです、その人が過去から影響を受けないようにするためには、それらの出来事は私たちが潜在意識のマインドと呼ぶ海の深い所に押し込められる必要があります。ヒーラーはそれらの出来事に自らの重みをかけ、それらを下の方に押し込めます。勿論、原因・結果の法則がそれを許せばのことですが。

さて、もし誰かがある特定のパーソナリティーに原因となるような影響を与え、しかもその特定のパーソナリティーはそのことを認識していない場合があります。その場合、原因となった影響がどこから来ているのかをどのようにして見いだすのでしょうか。また、その現在のパーソナリティーは再び転生してきたその誰かと今生で出会った時、即座にその出会いによってそのパーソナリティーは痛みを経験するとします。もし過去に戻れば、その時の出来事を詳細に見ることができます。時間をかけなくてもわかります。必要な出来事だけを見ます。**映画を見るように過去を長々と見るようなことはしません。ただ瞬間的に見るだけです。ヒーリングを行っている最中でも、それを見ることはできます。沢山の出来事を見ることができます。それは時間・空間の意味を越えています。意識は思考の速度で移動しますが、同調さらには黙想と比較すれば、思考は遅くなります。なぜなら、思考は制限のなかにあるからです。夢のなかでは現在のパーソナリティーは思考の速度で動きますが、しかし自己実現したパーソナリティーは神の黙想の“速度”、同調の“速度”で動きます。**そのリアリティー、現実を説明できる言葉はありません。**生涯、それも名前を持つ現在のパーソナリティーの一回の生涯ではなく、その現在のパーソナリティーの初めから終わりまで、つまり何千、あるいは何百万回の転生、初めての一番低次のバイブレーションへの転生から転生のサイクルを終了する最後の回まで、それら全ての転生を一瞬、一秒のうちに見ることができるのです。二分の一秒とも言えますが、それは非常に下手な説明です。つまり意識はそのように動くことができるのですが、それをどのように形容したらよいのかわかりません…稲妻のようにです。**

質問：そして癒しを受けている現在のパーソナリティーは何も知らず、全く何もわからないのですか？

Ｋ：ヒーリングを受けている現在のパーソナリティーは過去の出来事を再体験することはありません。ヒーリングを受けている現在のパーソナリティーを決して過去に連れて行ってはいけません。現在を過去へと連れ戻すのは非常に間違っています。重要なのは今のこの瞬間です。そして私たちは現在の各瞬間を最高に活かすべきです。

質問：自己実現したパーソナリティーは詳細を得るために学びのプロセスを見ることができるのですね。

Ｋ：そうです、しかし自分のためにそうするのではありません。他人のためです。レッスンのなかで説明したように、詳細をもたらす理由は、人間として一人一人は、山のあるポイントに立っているからです。説明したように、山の頂上まで到達した人は、計画を立て、そこに到達する体験をしなければならなかったのです。もしあなたが他人を助けるために頂上から降りるなら、誰もがそれぞれ特定のポイントに立っていることがわかるでしょう。そしてその人が立っている場所に応じて、あなたは新しい道を開いてあげる必要があるのです。それはあなた自身が登った時には通らなかった道かもしれません。これは誰もが別々に無意識に受け取っている助けなのです。しかしながら一般に、この助けを受け取る準備ができている人は互いに非常に近くにいます。もし彼らが非常に近くに立っていないなら、それは彼らはその特定の道から助けを受けられないことを意味します。正直に言えば、彼らは別の道を探す必要があります。そうです、彼らはある程度まで助けられるでしょう。しかし、もし誰かが自分自身についてワークをするために真面目に座る準備ができていなければ、沢山の達成を成し遂げることはないでしょう。

Page5

それゆえに詳細が必要なのです。常にさらなる詳細、より沢山の詳細が必要となるのです。なぜなら、人間として各人はその人独自の体験を経ているからです。この諸宇宙のなかで同じ体験を経ている人を二人見つけることはできないでしょう。誰もがそれぞれ独自の個人なのです。そしてその個人であることが重要なのです。その個人性のために私たちはここにいるのです。それ以外のためではありません。そして神の黙想の原因はこの個人性（individuality）にあります。**最初は現在のパーソナリティーの自己実現、二番目は魂のセルフ・エピグノシスの自己実現、最後はスピリット・モナド・セルフの自己実現です。そしてこれら全ては神の黙想の展開以外のなにものでもありません。私たちは神の黙想の活動のなかにあり、全ては全てのなかにあるのです。私たちは神のアウタルキーのなかにあり、私たちは現在のパーソナリティーとしてそれを認識していません。**

SPA N0.58 エクササイズ１

目を閉じて座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは純白に包まれています、自分の形の境界を感じ、同時に純白の五芒星のなかで守られているのを見ます…あなたは今この部屋にいる自分の存在に完全に気づいています、周囲の状況にもなじんでいます…

さて今、あなたがいるこの部屋が霧状の三つの異なった光によって完全にカバーされているのをイメージします。一つの光は金色、もう一つの光はホワイトピンク、そして三番目の光はホワイトブルー（＊水色）です…三つの輝きがあなたがいる部屋全体をカバーし、包んでいます…そしてこの部屋はあなたにとって親しみを感じる非常に特別な部屋です。

この部屋では全てがこれら三つの異なった輝きで包まれ、あなたもまたそれに包まれ、その現れに包まれているのを感じています…なぜならそれら三つの輝きは、あなたの現在のパーソナリティーのあらゆるステート（＊レベル、体）に健康を与えているからです…あなたはそれらの影響に自分を開き、それに包まれる暖かさを感じます…

徐々に、その影響の結果として、それに包まれることによって、あなたの現在のパーソナリティーを構成する諸センターが活性化します…そして今三つの太陽が見えます…金色の太陽、ホワイトピンクの太陽、ホワイトブルーの太陽で、それらが全方向に輝きを放っています。

そして今、三つの太陽の輝きはこの室内だけでなく、部屋の外側のあらゆる方向にも輝いています。それら三つの太陽がそのようなエネルギーを放っているのは、この部屋のなかが三つの輝きで包まれている結果です…

アガピ（＊至高の愛）があなたに与えられ、アガピはあなた自身からこの地球上の同胞のあらゆる人々に与えられねばなりません。これら三つの輝きを地球全体へと広げ、地球上の全ての人々の健康を、そしてあなた自身の健康を願います…どんなお返しも求めずに全てを与えている生命の海に感謝をします…

アガピおよび最愛のお方からの祝福があなたに、あなたの愛する人々に、そしてあなたの家庭に、全世界に与えられています。

私たちはいつも種、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

質問：強迫観念がある場合、現在のパーソナリティーがそれを抑圧することなしに、それらを取り去るにはどうしたらよいでしょうか？

Ｋ：もし誰かが強迫観念（＊妄想）を抱いているなら、初めは誰か他の人からのたくさんの助けが必要です。そして助ける人はその人の潜在意識に暗示を入れます。暗示、言い換えればエレメンタルを作ります。強迫観念を抱いている人は、そのような妄想から自由になるために自分自身を助けることがとても困難です。実際には心理分析者あるいは心理学者からのワークが求められます。それら専門家から助けが得られるかどうかは神のみが知ることですが、そうあるべきです。なぜなら、**そのような妄想は現在のパーソナリティーの二つの体のアンバランスと関係があるからです。**それは精神分裂症の一種であると言いたくありませんが、それはアンバランスの結果です。それはつまりサイキカル体またはノエティカル体の再形成が必要だ、ということです。それら二つの発達に大きな違いが生じています。発達させる代わりに、それら二つの体を同じように再形成します。それらの再形成が異なっている結果として、常にではありませんが時には妄想が生じることもあります。

質問：しかし、もしパーソナリティーがその妄想に気づいていて、それを取り除きたいと願っている場合には？

Ｋ：もしパーソナリティーがそれについて自覚しているなら、少しはましですが、しかし自覚しているだけでは十分ではありません。自分の妄想をいかにして取り除くかということです。妄想、強迫観念を抱いているパーソナリティーは、自分自身でそれを取り除くための努力を受け入れることが困難です。助けが必要であり、単に言葉を通した助けだけではなく、暗示を置く必要があります。言い換えれば、エレメンタルを作るということです。さらに、その人がエレメンタルを作って、それを潜在意識のレベルに入れるよう指示する必要があります。それは妄想がどれほど強いかにもよりますが。いいですか、妄想は時にはその人を精神分裂症へと導きます。

質問：それでは、現在のパーソナリティーが暗示を入れるとして、それらはどのような形にしたらよいでしょうか？もし特定の妄想を取り除きたい旨を表現すると、それはその人が自分の問題に注意を向けることになってしまいます。

Ｋ：そのパーソナリティーを妄想から切り離す必要がありますが、どのようにしますか？言葉だけでは十分ではありません。

質問：そうです、しかしどのような暗示を入れますか？どのような言葉でしょうか？

Ｋ：あなたはその人に対して、何か他のことにとても強くフォーカスさせるようにします。暗示はその人に何か他のことにフォーカスさせるためです。妄想とは関係ないことに。あなたはその人に妄想それ自体について述べるべきではありません。なぜなら、もし妄想に関係ある暗示を入れると、その人はそれにフォーカスする危険があるからです。その人が妄想とは別のことに興味を抱くようになるよう、助けるようにします。そのパーソナリティーの理解に合わせて、**あなたは自分のバイブレーションを下げることができなければなりません。そのパーソナリティーだけが受け入れることのできる無知をあなたが表現する必要があれば、そうすべきです。時にはあなたは子供になる必要があります…つまりその人と交流するためにです。助けようとする相手よりも高いレベルに立つことは決してすべきではありません。絶対そうすべきではありません。時には、その人のエゴを刺激するために、あなたは低次のレベルのセルフを示す必要さえあります。それによって、相手があなたを理解し、あなたが自分よりも高いところにいないと考えさせるためです。**どれほど多くの人がそのようなことをできるでしょうか？どれほど多くの人々が自分のエゴの結果としてそのようなことをできるでしょうか？実際にはその反対です。人々は自分がより高いレベルにいることを示したがります。人々はイエス・キリストの例を見習うことはしません。イエスは他人の前にひざまづきました。イエスは他人の足を洗ったのです。あなたは謙虚であらねばなりません。それが適切なやり方です。しかし、どれほど多くの人々がそれをできるでしょうか？人々は金で身を飾り、相手を自分の前にひざまづかせ、そして自分を光の従者と呼んでいます。真の光の従者、光の召使いは自分を隠すようにし、自己宣伝したりしません。そのような人々はあなたがそれに気づかないかもしれませんが、あなた方の間にいるのです。

EREVNA SPA 58/KE9/F7